



住み慣れたこの街で・・・をともに

おひさま在宅 クリニック

訪問診療・内科外来

〒174-0063 東京都板橋区前野町5丁目44-16 1F

都営地下鉄三田線 志村3丁目駅から徒歩約9分

首都高速五号池袋線 中台ICから車で3分



おひさま在宅クリニック

お問合せ・ご相談

当院は、在宅ケアを主体に365日活動する在宅療養支援診療所です。

ご自宅で療養するうえでの困り事は、遠慮なくご相談ください。

「こんな場合は、在宅医療の対象になるの?」などのご質問もお受けしております。

なお外来診療については微力ですが予約制にて行っております。

ご希望の方はお電話にてご予約ください。



03-5918-9750

お問合せ時間帯 9:00~17:00



sunsun@ohisamazaitaku.jp



ホームページ
QRコード



当院について

わたしたちは、療養の小さな心配事から自宅で最期を迎えることまで何でも相談できる在宅ケアの伴走者でありたいと願っています。また地域でともに働く看護師や介護職と喜びや悩みを共感し、課題と一緒に取り組むクリニックを目指します。

当院の特徴

ご本人とその背景に気を配る

複数疾患を患い重度化・複雑化した患者さんと、その家庭環境を考慮した医療を提供していきます。

地域におけるかかりつけ医としての役割を担う

医療介護連携・病診連携さらには福祉や地域の人々を含めた、地域包括ケアにおけるかかりつけ医としての役割を担っていきます。

患者さん主体の療養目標

家で生活しているのは患者さんご本人だけではありませんので、ご本人の目標だけでなくご家族の希望も伺いながら、それぞれのお宅にとっての最善の療養方法を看護師や介護職とともに考えてゆきます。

パンデミックや災害時に積極的に地域を守る

災害弱者、要医療者である在宅療養の方々の災害時支援を共に考え、大河川がある板橋区でも安心して暮らせるように支えていきます。またコロナ禍のようなパンデミックにおいても怯むことなく、患者さんや地域の方を護れるように尽力してまいります。

クリニックスケジュール

時間	月～木	金
9:00～11:00	訪問診療・往診	外来
11:00～18:00	訪問診療・往診	訪問診療・往診

※ 夜間、土曜日 / 日曜日 / 祝日、院長休養日・公務日は、連携サポート医が診療対応することがあります。

在宅医療について

医師が患者様のご自宅等を定期的に訪問し、診療を行います。緊急時には夜間や休日に関わらず必ず電話応対し、必要に応じて臨時往診します。入院が必要な時はご希望の病院または連携病院への紹介、手配をいたします。

ご利用にあたって

対象となる疾患

悪性新生物(治療から緩和ケアまで)
慢性呼吸器疾患・慢性心不全・神経筋難病
脳血管障害・骨関節疾患・認知症・摂食嚥下障害その他、15歳以上100歳超までの何らかの理由で通院が難しくなってしまった方

対応可能な医療処置

点滴・諸剤注射・尿道カテーテル交換・膀胱瘻交換・経管栄養管理・胃瘻交換(バルン、バンパー)・気管切開管理および交換(レティナも可)・在宅酸素療法管理・人工呼吸管理(NPPV、TPPV)・胸水・腹水ドレナージ
在宅中心静脈栄養管理・医療用麻薬持続注射管理

連携医療機関

東京都健康長寿医療センター・東京都立豊島病院
板橋区医師会病院・帝京大学医学部附属病院
日本大学医学部附属板橋病院・板橋中央総合病院
高島平中央総合病院・東京都北医療センター
その他、諸大学病院・国立がん研究センター中央病院
がん研有明病院、国立国際医療センターなど
多くの病院と連携可能です

院長紹介

経歴

1993年千葉大学医学部卒。千葉大学呼吸器内科、小田原市立病院呼吸器内科、船橋医療センター内科勤務、東京都老人総合研究所にて呼吸不全に関連する研究を行う。
松戸市立病院内科医長を経て2004年板橋区役所前診療所へ。2024年4月、おひさま在宅クリニック開業。内科専門医・呼吸器内科医としてのプライマリーケアや呼吸不全、難病診療、緩和ケアの経験を活かし、在宅医療の現場で20年以上にわたり診療。またその傍ら、多職種協働や学生・研修医への指導、地域の方との勉強会、医師会活動などを通じた地域貢献に務めています。
2017年より板橋区医師会理事となり、2021年より同会副会長として、行政とも協力しながら「誰もが安心して暮らせる街づくり」を目指しています。

院長 鈴木陽一

医学博士・日本内科学会
総合内科専門医
日本呼吸ケアリハビリテーション学会 代議員
板橋区医師会 副会長
帝京大学医学部
医学教育センター 臨床教授